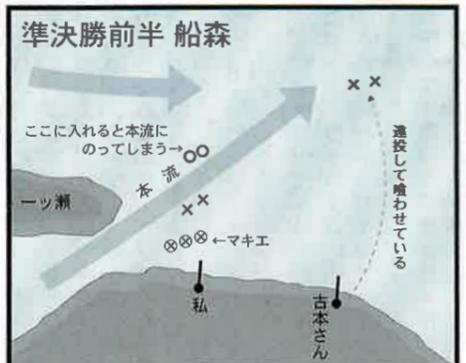


2013 19th World Fishing Gaia Of Gure 予選リーグ結果

【第1ブロック】		丸銀丸				◎1位通過					
ゼッケン	代表支部・地区	1	2	3	4	1	2	3	4	総重量	備考
1	天本寿男 長崎県南支部	10	10	10	30	1	1,190g	2,500g	1,520g	5,210g	◎
2	芦浦 栄吾 南小倉支部	0	10	10	20	2	0g	6,430g	690g	7,120g	
3	佐々木利明 伊豆支部	2	2	2	6	4	640g	4,940g	780g	6,360g	
4	横井 公一 磯釣研 推薦	2	0	10	12	3	980g	0g	1,300g	2,280g	



的に今回はゼクトのSサイズとレギュラーサイズを使い分けて試合に臨みました。1回戦はゼクトのレギュラーサイズの0号、2回戦はSサイズの0号、3回戦はSサイズの0号から0α。風が強い時やポイントが遠い時はレギュラーサイズを使用し、ポイントが近い、



風よりも潮が強い時、喰いが渋い時等はSサイズを使用するようにしました。

大会2日目、いよいよ準々決勝。相手は長崎県北の平野さん。予選リーグ負け無しで勝ち上がった来り強者。話を聞くと遠投が得意だという事だったので、それならば足元を釣って数を稼いで、足元から中間、そして遠投を織り混ぜた釣りをしようと思っ掛け、何とか接戦に持ち込めました。そして運よく同匹でしたが、重量で私の方が少しだけ重かったので勝ち上がりました。

《2日目》
次は準決勝。場所は一ツ瀬の横の『船森』ですが、準決勝で使っていて2人で50匹近く釣ったとの事で、かなり場荒れしたかなという思いで臨みます。

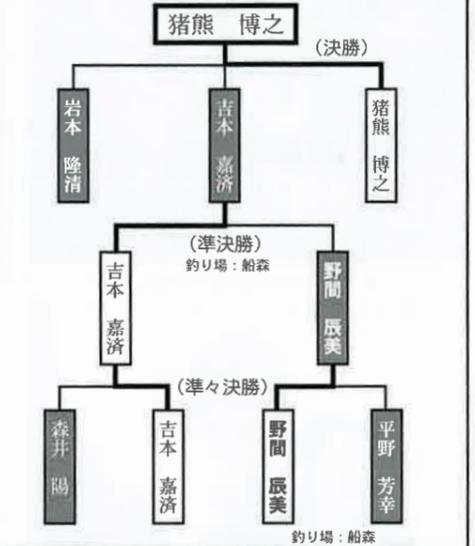
良型を釣り上げた吉本さん

案の定、喰い込みが悪いようで、ツケエを吸い込むのではなく口先でついでに吸い込むような感じ。しかも流れが速く私のポイントが潮上で、遠投している吉本さんのウキがあるところにきれいに流れている。マキエを撒けば撒くほど吉本さんのポイントにクワを寄せる

ような感じですが。仕方がないので近距離の僅かなヨドミをしつこく攻めてポツポツと拾う釣りを展開して場所交替。

『最後に』
今回、冒頭で書いた『忘れ物』がなかったら、勝ち上がっていたのか、それとも予選リーグで負けていたのか、どっちだった

WORLD FISHING GAIA of GURE 19th Tsuriken World Finalist 2013 WORLD CHAMPION



その後、決勝戦を観戦しましたがさすがにファイナリスト。一近一運の攻防の末、見事、猪熊さんが優勝の栄冠を手に入れました。

そして最後の決勝戦を観戦し、私にとって得るものが多く、大変有意義な時間を過ごさせてもらいました。

勝ち上がった選手達は色々なツケエを準備し、それをうまくローテーションしているようでした。全国大会に出場するにあたって万全の態勢で臨まないとならないのではと実感しました。

『自分だ！』という思いで予選に出場してみても、素晴らしい大会ですよ！

